



商業・産業IJP 事業戦略説明会

2020年 6月 18日
セイコーエプソン株式会社

プロフェッショナルプリンティング事業

商業・産業IJP

小型プリンター他

完成品ビジネス (本体・インク・サービス)

フォト/プルーフ

ファインアート、写真、プルーフ（校正）など



コーポレート

CAD図面やGIS（地図）など



サイネージ

屋内外看板、ポスター



プリントヘッド
外販ビジネス
(プリントヘッド・インク)



テキスタイルDTG

Direct to Garment
Tシャツなど既成された布に直接印刷する方式



テキスタイル昇華転写

転写紙に印刷された昇華型インクに熱を加え布地に転写させる方式



テキスタイルDTF

Direct to Fabric
布地に直接印刷する方式



ラベル

食品・飲料など商品の識別ラベル用途

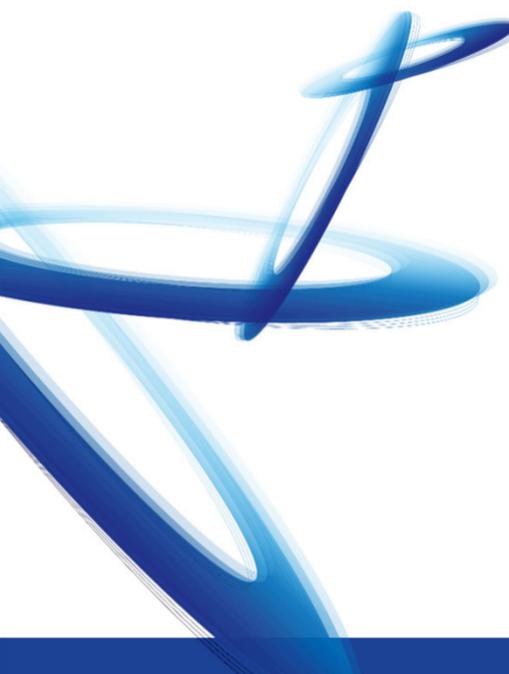


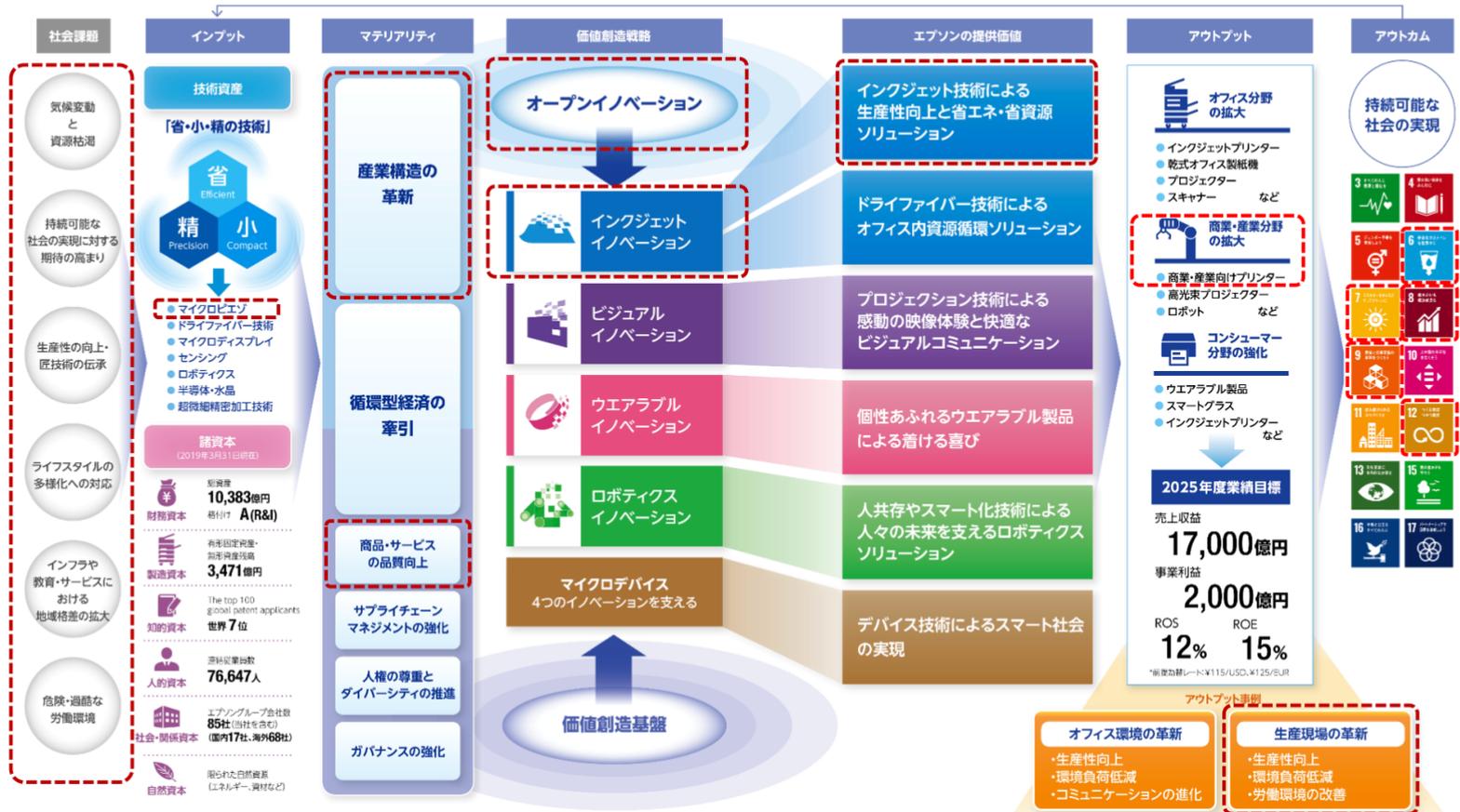
ラベル印刷機



ラベルプリンター

目次

- 
- A decorative graphic on the left side of the page, consisting of several overlapping, curved blue lines that create a sense of motion and depth. The lines are in various shades of blue, from light to dark, and they curve upwards and to the right.
1. 価値創造ストーリー
 2. エプソンのこれまでの取り組み
 3. 市場概要
 4. エプソンの成長戦略
 5. 業績目標



なくてはならない会社



気候変動と資源枯渇



持続可能な社会の実現に
対する期待の高まり



生産性の向上・
匠技術の伝承



ライフスタイルの
多様化への対応



インフラや教育・サービスに
おける地域格差の拡大



危険・過酷な
労働環境

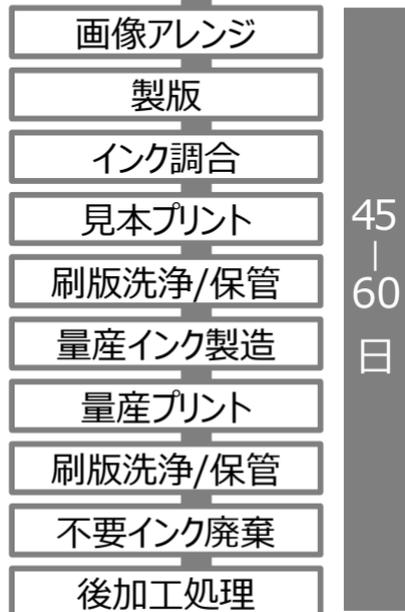
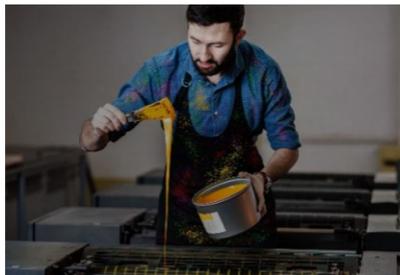
● 廃棄物が少なく、高効率で安全な生産プロセスの実現

➢ 生産性向上と環境配慮を両立したインクジェットソリューション

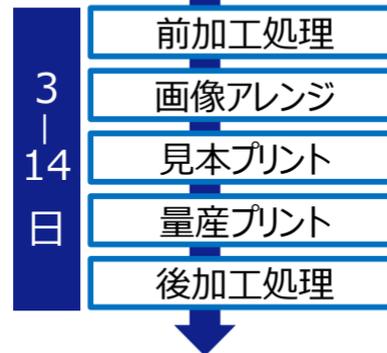
作業工程が煩雑で廃棄物が多い

作業工程が少なく環境負荷が低い

アナログ捺染



デジタル捺染



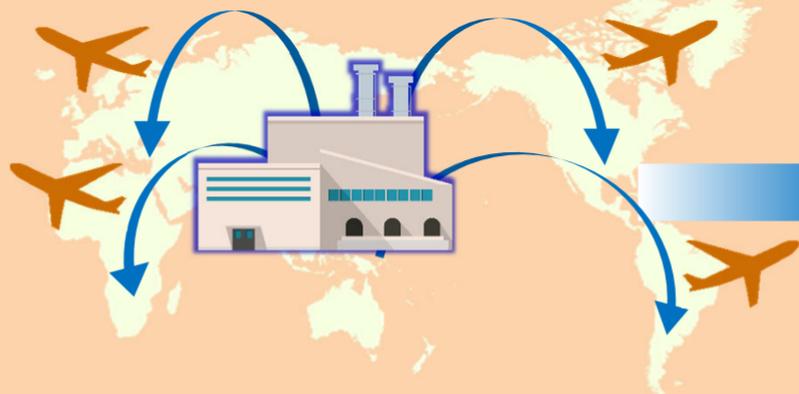
提供価値

- 短納期で印刷。売れ残り、廃棄ロスの削減
- 刷版洗浄に必要な水、廃棄インクの削減
- 刷版、仕掛品の保管スペース削減
- クリーンで安全な印刷環境の実現

● 近消費地生産・分散印刷へのニーズの高まり

- 移動を前提としない新たな生活様式への対応

従来型生産



近消費地生産・分散印刷



商業・産業IJP エプソンのこれまでの取り組み



- 1998年の商業プリンターの事業化以来、
ピエゾヘッドの特長である高画質・幅広いインク対応性で、用途を順次拡大

高生産・低コスト化

2018 コーポレート向け新商品の拡充

2016 DTFメーカー 伊ロブステリ社子会社化

2015 DTF 伊フォルテックス社子会社化

2014 ミニラボ SureLab投入

2014 サイネージ向け商品

2013 昇華転写機/DTG商品投入

2012 ポスター/CAD向け商品投入

2010 ラベル印刷機 SurePressシリーズ投入

2005 高画質フォトモデル:PX-7500/9500シリーズ投入

1998 初のラージフォーマットプリンター PM-9000C

多用途化
(サイネージ・テキスタイルへ展開)

高画質でフォト領域開拓



商業・産業IJP 市場概要



- 経済発展・人口増に応じて拡大する市場
- その中でテキスタイルとラベルを中心にデジタル化の大きな機会が存在

ジャンル別の印刷市場におけるデジタル化比率

(本体+インク金額：約3.4兆円)



* Geographic Information System、地理情報システム

エプソン完成品ビジネスのジャンル別市場シェア状況

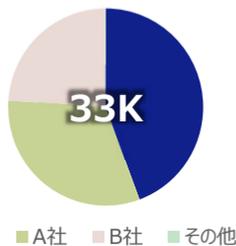
FY19 WW台数シェア
エプソン調べ

- フォト/プルーフでは高画質による差別化により安定的に高シェアを獲得
- 他ジャンルではラインアップ拡大に時間を要したことでシェア獲得は限定的
- サイネージと昇華転写などでは中国メーカーが高いシェアを獲得

*説明会開催時資料からデータを更新

フォト/プルーフ

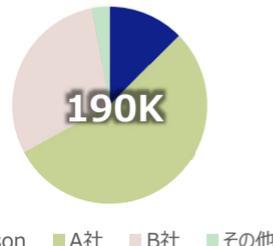
- ・高画質で差別化



■ Epson ■ A社 ■ B社 ■ その他

コーポレート

- ・ラインアップ不足



■ Epson ■ A社 ■ B社 ■ その他

サイネージ

- ・中国メーカーが低価格で展開
- ・エプソンはラインアップ不足

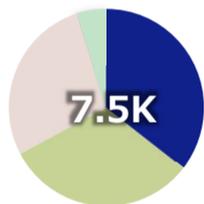


■ Epson
■ 中国メーカー
■ 日系主要他社
■ その他

テキスタイル

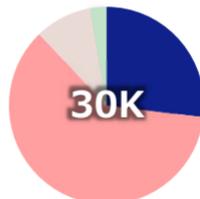
- ・DTGは高シェアだが、高生産領域への展開は限定的
- ・昇華転写、DTFは中国メーカーが低価格で展開

DTG



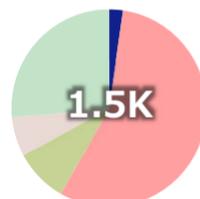
■ Epson ■ C社
■ D社 ■ その他

昇華転写 (24"以上)



■ Epson ■ 中国メーカー
■ 日系主要他社 ■ その他

DTF*

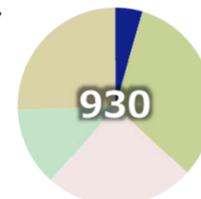


■ Epson ■ 中国メーカー
■ E社 ■ F社
■ その他

ラベル

- ・高生産性モデル拡大に課題

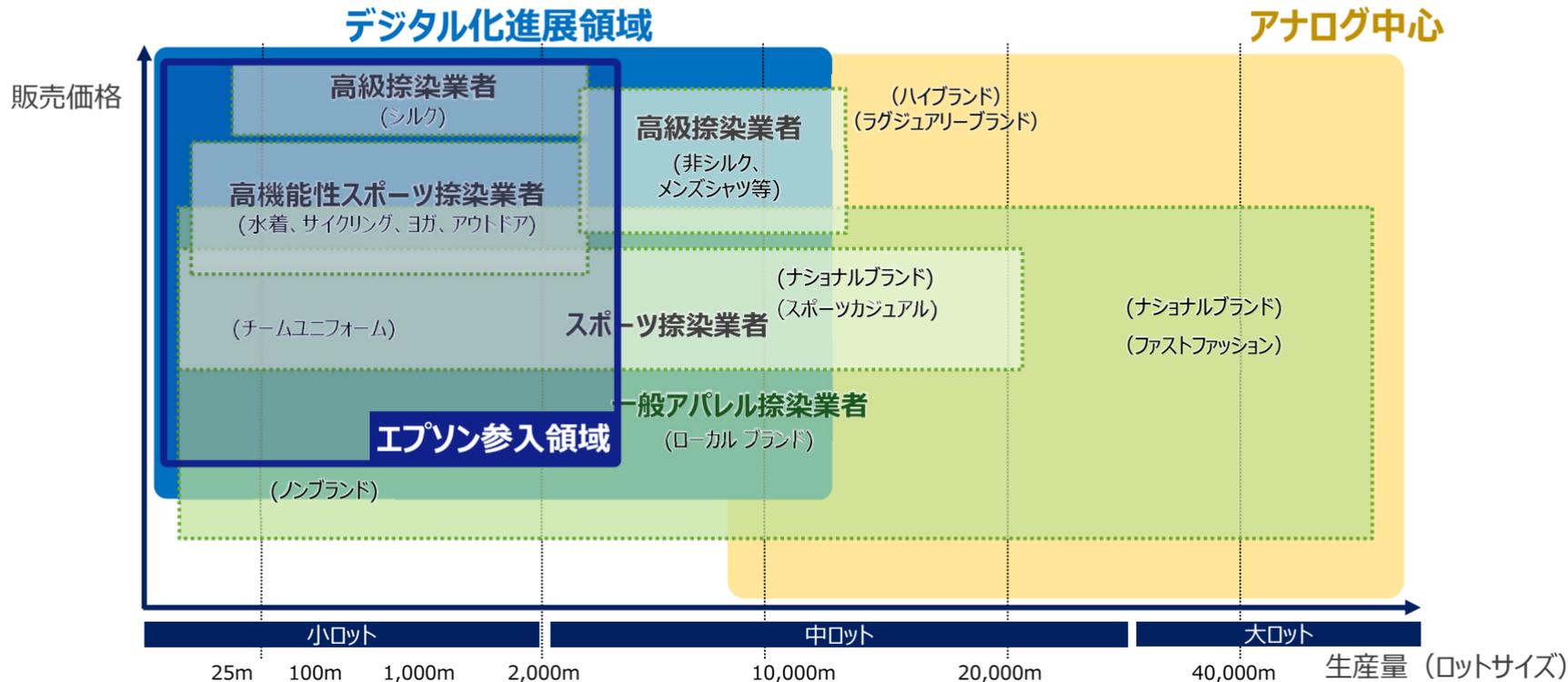
ラベル印刷機



■ Epson
■ A社
■ G社
■ H社
■ その他

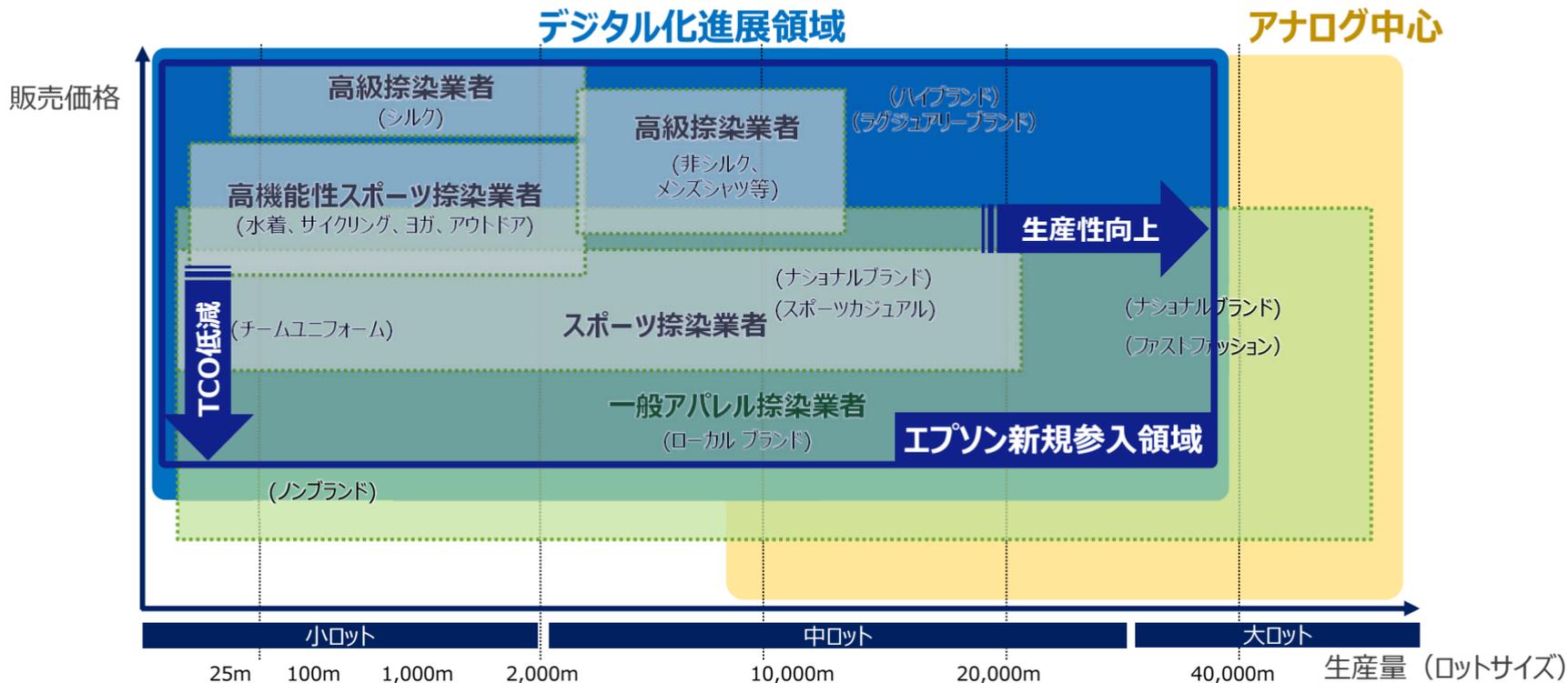
テキスタイルのデジタル化状況（アパレル）

- 多品種・小ロット・高付加価値領域ではデジタル化が進む
- 高生産領域（中・大ロット）は、エプソンにとっての成長機会



テキスタイルのデジタル化状況（アパレル）

- 多品種・小ロット・高付加価値領域ではデジタル化が進む
- 高生産領域（中・大ロット）は、エプソンにとっての成長機会



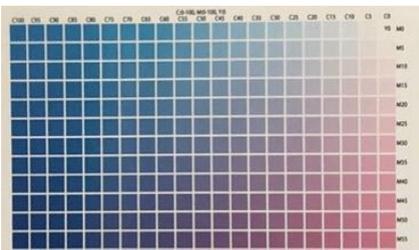
色の品質管理

ターゲットカラー

もっと正確に、簡便に色合わせをしたい

機体間・機種間

異なる機体でも同一な印刷をしたい



- 1,000を超える生地と、数100枚のカラーパッチの色合わせが困難
- 印刷→転写→目視→データ修正でトライ&エラーを繰り返す

- 機体間・機種間で発色が合わないため、複数機での生産ができない
- 機種置き換えが難しい

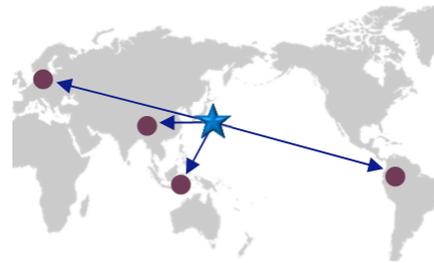
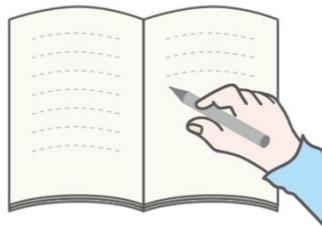
生産管理

効率的な管理

効率的に印刷機器運用をしたい

多拠点生産

拠点間での生産移管や稼働管理を効果的にしたい



- 多くの中小企業では、個々の稼働状況・印刷設定を手書きメモで管理
- ダウンタイムの極小化や効率的な印刷機器運用がしにくい

- 多拠点で生産を行う大手企業は、拠点間での稼働管理が求められる
- 「近消費地生産」「小ロット化」「多拠点化」がより進む

商業・産業IJP エプソンの成長戦略



商業・産業

急激なデジタル化への転換を主導

プラットフォーム化と協業により
高生産性商品のラインアップを
一気に拡大



プリントヘッド外販とオープンイノベーションで
多種多様なニーズに対応し、ビジネスを拡大



プリントヘッド外販ビジネス説明会資料はこちら https://www.epson.jp/IR/pdf/news_200331.pdf

戦略のポイント

- 高画質に加えエプソンならではの差別化の追求
- プラットフォーム化により、高生産性商品、多用途のラインアップを一気に拡大
- 分散印刷・増設需要に応えるソフトウェアソリューションの展開
- お客様との接点や支援体制の強化によるデジタル移行の加速

お客様の困りごと

- 生産性を上げたい
- デジタル印刷のTCOが高い
- 色合わせが煩雑
- 機体・機種間で発色に差が生じる
- 生産管理が非効率

エプソンの課題

- 商品の迅速な市場投入
 - 高生産性商品のラインアップ不足
 - テキスタイル・サイネージのインク種に制限
- TCO低減の実現
- 色合わせ・生産管理ソリューションの不足

●プラットフォーム設計による商品の迅速なラインアップ拡大

- 新商品展開のスピードを落とさずにラインアップ拡大が可能に
 - ✓ プリントヘッド・プリントメカニズム・インク供給システム・制御システムの組合せで多様な商品を創出
- オフィスやホーム向け商品で培った技術や資産を共通化し、スケールメリットを享受



PrecisionCore
マイクロTFPプリントチップ



PRECISIONCORE

- 商業・産業印刷に適したマイクロピエゾ方式
 - 高画質・高速化が可能
 - 幅広いインクに対応可能
- プリントチップを組み合わせることで多様なヘッドを低コストで実現

SOHO向け
インクジェットプリンター用ヘッド

プリントチップ 1~4枚使用



大判インクジェット
プリンター用ヘッド

プリントチップ 10枚使用



大判高速インクジェット
プリンター用ヘッド

プリントチップ 4枚x色数分使用



大型高速ラベル印刷機用
ラインヘッド

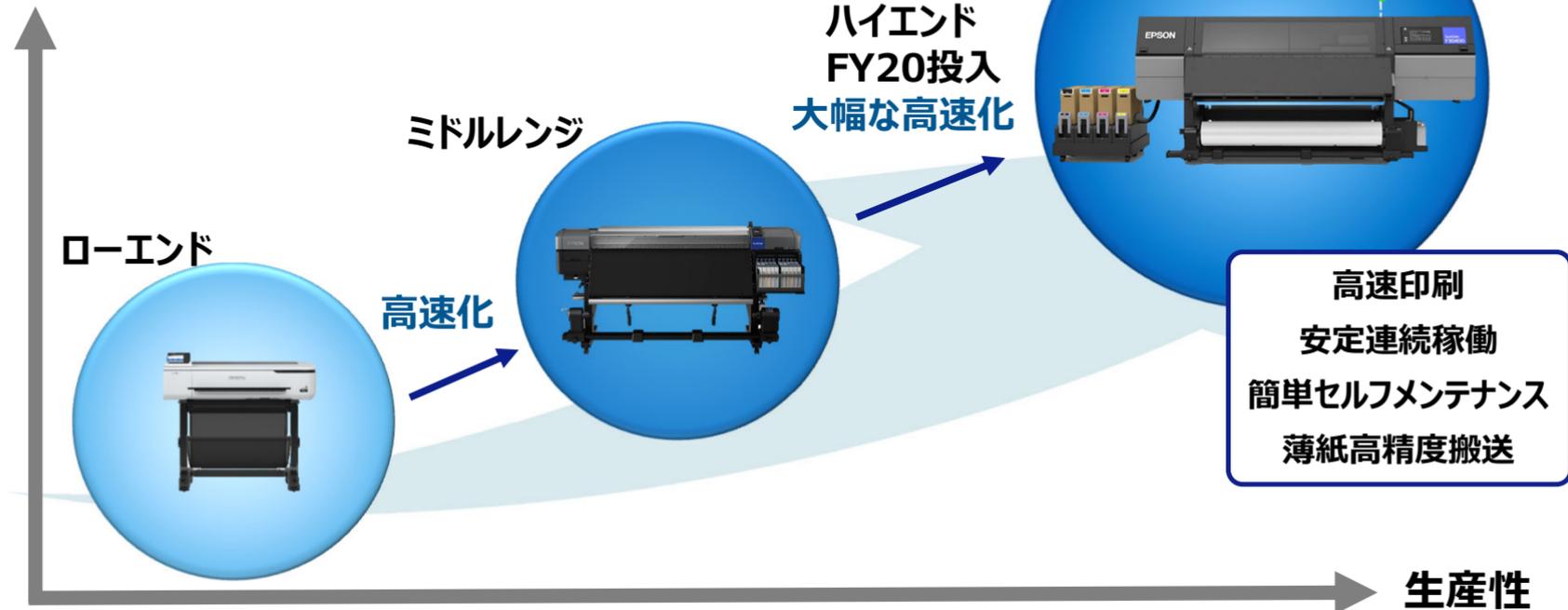
プリントチップ 11枚使用



● 高生産性を備えたハイエンドプラットフォームを投入（76"）

- 低価格帯商品から高生産性商品までのラインアップが可能に

用途展開

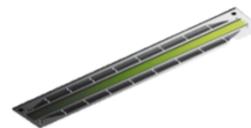


● オフィス向けIJP搭載の技術も活用し共通化

インク/ 制御システム	プラットフォーム			
	ローエンド	ミドルレンジ	ハイ	ハイエンド
インク供給 システム	インク容量の異なるプラットフォームを整備			
	 (大容量インクタンクモデル技術転用)			
エレキシステム	データ処理能力により集約			
	エレキA		エレキB (高速LIJ技術転用)	エレキC
ファームウェア	オフィスIJP向けプラットフォームの展開			
ソフトウェア	リモートモニタリングインフラ・カラーマネジメント・RIPの共通化			

幅広い用途に対応したインクをラインアップ^o

- ピエゾ方式ならではの幅広いインク対応性を徹底追求
- 商品ラインアップ展開に同期した多様なインクの開発・投入



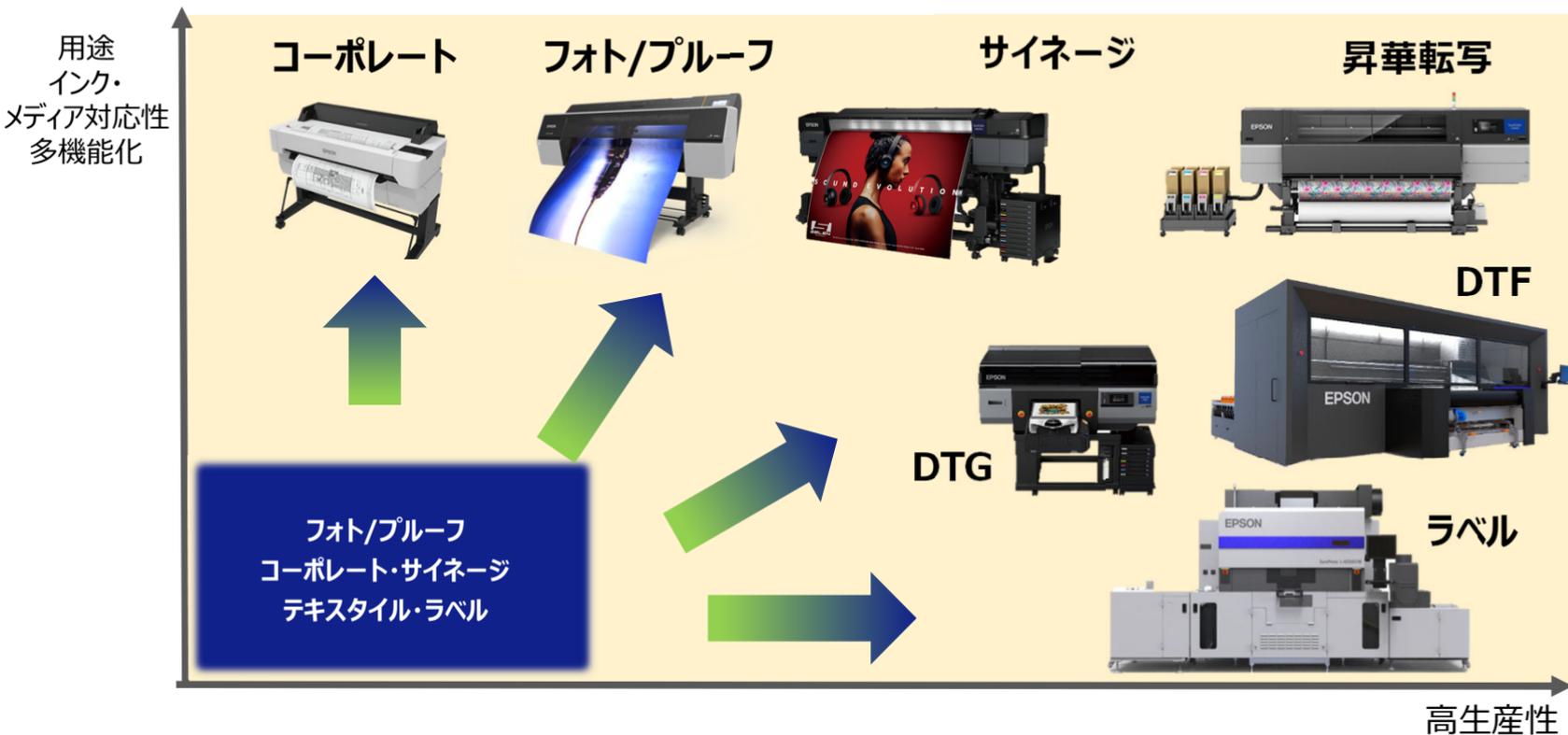
PRECISIONCORE

ジャンル	フォト/プルーフ コーポレート	サイネージ	テキスタイル	ラベル
インク種類	水系顔料 水系染料	エコソルベント 水系染料 UV レジン	昇華転写 酸性 反応分散 顔料	水系レジン UV 顔料
インク特性	水系で扱いやすい 紙系メディアに最適	耐候性に優れ 高画質サイネージに最適	高画質・発色 高い洗濯堅牢性 多様な布生地に対応	紙からフィルムまで 幅広いメディアに対応
主な用途	ファインアート、写真 CAD、GIS、ポスター	屋内外看板、壁紙 ソフトサイン、リジット*1 ボード、バックリッド*2	アパレル (ファッション・スポーツウエア) リジット インテリア	多様な商品

*1 硬質なメディア、ボード素材など *2 Back lighting、内照式のパネル看板

高生産性、多用途にラインアップを一気に拡大

● FY19-21 は、3倍以上の機種数を市場投入（FY16-18との対比）



テキストスタイル昇華転写 | 高生産を実現する新商品

- 64"シリーズに6色モデル、24"シリーズに大容量インクタンク搭載モデル投入
- 76"高速・高生産機を加えラインアップを拡充

2019年新モデル



24" コンパクト昇華転写プリンター
コーポレートモデルがベース
大容量インクタンク搭載



44" モデル
小物サイズの生産に適した
信頼性の高いコンパクトモデル



64" 6色モデル投入
蛍光インク対応により表現の幅が拡大

76" 高生産昇華転写プリンター (2020年)

- 安定連続稼働
- 薄紙高精度搬送
- ユーザーセルフメンテナンス機能充実

高速
高生産機



● テキスタイル技術を集約した高生産フラッグシップモデル

- 最大8色で高画質
- プリントボリュームに応じたインク価格を提供しデジタル化を推進



現行機『Monna Lisa Evo Tre 32』

600x600dpi 2pass モード : 423m²/h



『Monna Lisa Evo Tre 64』

600x600dpi 2pass モード : 740m²/h

2019年 βテスト開始

● カラーコントロールテクノロジーにより色の品質管理が容易に

- 短時間で高精度な色合わせが可能に
- 機体・機種間での再現性・安定性の高い色合わせを実現

● 分散印刷によるスケーラビリティを実現

- 近消費地での印刷による在庫 & 供給リスク回避
- 事業拡大に合わせた生産能力拡張が容易に



複数台のプリンターを組み合わせて印刷



● Epson Cloud Solution プラットフォーム

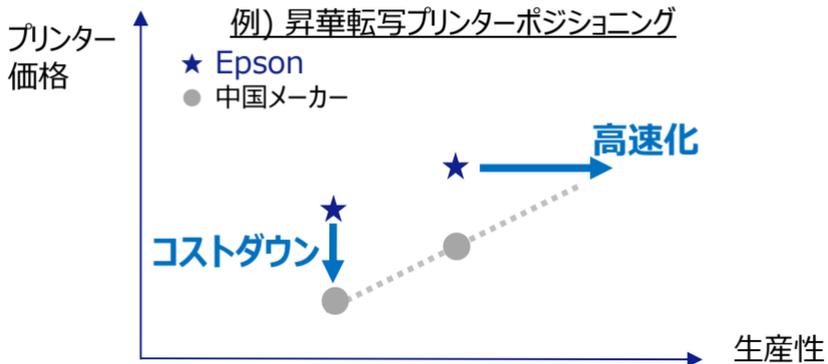
- 「色の品質管理」に加え、「生産管理」「保守管理」をサポート
- 2020年サービスイン、順次機能を拡張



- ベンチマーキングにより、本体・インクの低コスト化を実現
- 新たなサービスの提案によるランニングコストの低減
 - プリントボリュームに応じたインク価格のボリュームディスカウント
 - サブスクリプション・課金などのプログラム提供

本体コストダウン

中国メーカーをベンチマークとし
コストダウンの推進と高速化を進める



インクコストダウン

アナログインクからの置き換えに伴い
インク価格の低下が進行
MIFを拡大し量的コストダウンを進める



● デジタル印刷の価値を伝える活動を充実

- 大型印刷機は直販体制、中小型大判プリンターはディーラー販売を基本としながら、お客様接点の強化を進める

ショールームの拡充

- 日本のほか、全世界の販売拠点にて大幅に拡大

プレセールス活動

- デイラー/お客様向け内覧会やセミナーの活性化
- 早期商談化と商品へのフィードバック

ブランドオーナーへのアプローチ活動

- デジタル印刷の価値を直接訴求
- 共同開発の促進



フランス



ブラジル



● お客様の成長を支えるコンサルティングや業界プレイヤーとの共同開発を充実

お客様の困りごとを解決
業界プレイヤーとの協業

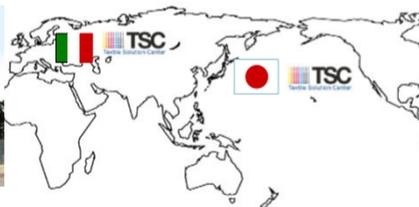


テキスタイル・ソリューションセンター

デジタルテキスタイルの前処理・後処理を含めた全工程を整備
お客様の品質期待値を確認しながら商談を推進
各種技術サポート、開発機能も担う



TSC
伊フォルテックス社と共同で設立



TSCアジア

ソリューションセンター

商業・産業IJP全ジャンルが対象



広島ソリューションセンター（長野県）
（2020年春オープン）

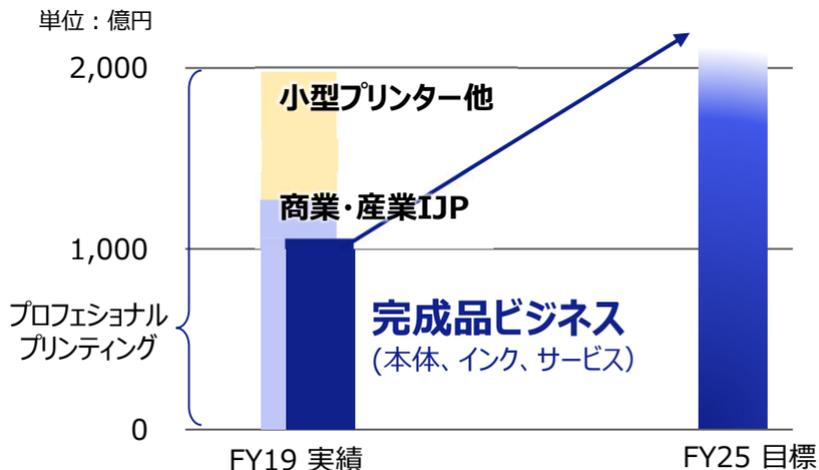
商業・産業IJP 業績目標



● 売上成長と同時に利益成長を実現

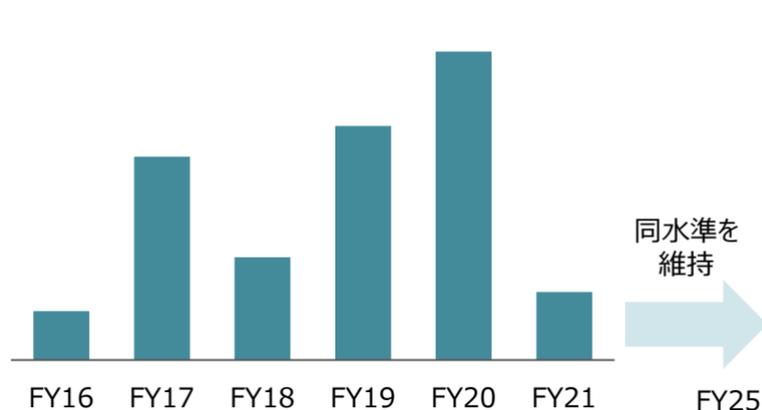
- FY25までに完成品ビジネス売上収益を2倍以上に
 - ✓ コーポレート、サインージ、テキスタイル、ラベルを中心に売上成長
- FY20で大型設備投資は終了

完成品ビジネス 売上収益目標



設備投資

完成品ビジネス 金型・機械投資金額



EPSON
EXCEED YOUR VISION

新商品・ラインアップ紹介

- テキスタイルDTG
- ラベル
- フォト/プルーフ、コーポレート

- 生産性と耐久性を高めた産業用途向けDTGプリンター投入
- お客様ニーズに合わせた2ラインアップを展開

従来モデル

小中規模業者向け



新モデル (2020年)



高生産性
高耐久

- 2つのヘッド搭載で濃色Tシャツも超高速印刷
- 高プリントボリュームに対応した大容量インクパック (1.5L) 採用
- ユーザーセルフメンテナンス機能対応によりダウンタイム短縮

● SurePressシリーズ：大幅な高速化

- 高生産印刷によるアナログ印刷を本格置き換え
- プリントボリュームに応じたインク価格を提供しデジタル化を推進



高画質モード 15m/分

大幅な
高速化



高画質モード 30m/分
高速モード 50m/分

*日本未発売

● ColorWorksシリーズ：高機能化

- カラーインクジェットプリンターとして
世界初*のピーラー搭載



2019年発売
『CW-C6520P』（8インチ/ピーラーモデル）



外部インターフェース搭載で
ピーラー機能を自動化生産ライン
に組み込んだ活用が容易

* 2019年10月24日時点でのエプソン調べ

● フォト高速高画質化

写真・ファインアート・プルーフ向けに高画質（11色機）
従来比2.3倍の高速化を実現

- ・ フォト領域での高速印刷を実現
- ・ 広範な色再現領域を実現
米国パントン社カラーチャート 99%カバー達成
- ・ 重厚感のある黒を表現



従来比
2.3倍*

2019年

従来ラインアップ

* 印刷速度 最大印刷幅が同一サイズの当社機種と比較。
『SC-P9550』の比較対象機種は、『PX-H10000』（2008年発売）、「SC-P9050V/G」（2015年発売）。
<比較条件> SC-P9550：A1プロフェッショナルフォトペーパー（薄手光沢）レベル1（速い）（720dpi×720dpi）
PX-H10000、SC-P9050V/G：A1プロフェッショナルフォトペーパー（薄手光沢）レベル1（速い）（720dpi×720dpi）
印刷速度はホストとのデータ処理、転送時間を含まない。印刷速度はデータ容量・サイズ・アプリケーションソフトによって異なる。

● オフィス向けIJP技術を応用し コーポレート分野拡大

FY18に投入したT3000/5000シリーズをベースに
お客様ニーズに合わせ、インクタンク搭載、MFP、
大容量化など拡張



T3000/5000シリーズ

高生産化

EPSON
EXCEED YOUR VISION